

大学等名：津田塾大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

本取組は、本学が培った女子リベラルアーツ教育の伝統を、平成24年の中央教育審議会答申が求める「大学教育の質的転換」に重ね合わせ、留学、インターンシップやボランティア等の学外学修の機会をより多くの学生に与えようというものである。

リベラルアーツ教育の中に学外学修活動をバランスよく取り入れ、その相乗効果をマキシマイズし、かつそれをより多くの学生が享受できるようにすべく、以下の改革事業を段階的に実施する。

TSUDA VISION 2030 —変革を担う、女性であること—

本取組

カリキュラム改善 2017-
「インターンシップ」、
「サービスマーケティング」、「インデペンデントスタディ」
学生の自主性を尊重しつつ、
学びの質を保障するシステムを構築し単位認定

学外学修センター設置 2016-
Off-Campus Learning Center
学外学修活動への組織的サポート、学外学修情報の蓄積・共有、
学外学修関連サービス・業務の集約

学年暦見直し 2017-
クォーター制によるギャップタームにより
長期の学外活動や海外での活動を可能に

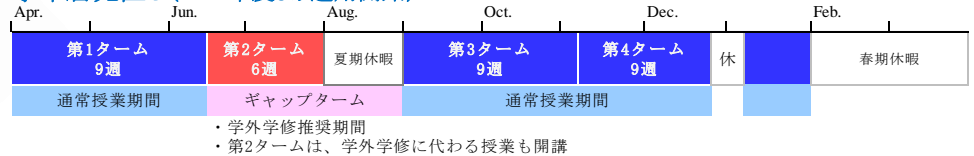
2015年度事業開始時点

- 多様で特色のある学外学修活動が行われ、支援制度も存在するが、以下の問題があった。
- ・ 学年暦の制約により長期の学外学修活動が困難
 - ・ 参加する学生が一部の学生に限られている
 - ・ 組織的なサポートが不十分
 - ・ サービスや業務が多く部署に分散
 - ・ 単位認定する仕組みが不十分

カリキュラム改善 (2017年度より適用開始)

学内学修に支障を及ぼすことのない学外学修実施環境を実現

学年暦見直し(2017年度より適用開始)



学外学修センター (Off-Campus Learning Center) によるサポート

learning support

事前指導、事後指導、学修支援システムの開発、単位認定、実施サポート、安全サポート

activity incubator

学生、教員、企業等のアイデアを適切な学外学修活動として孵化させる仕組み

activity portal

学外学修活動に関するワンストップサービスWebサイト

activity library

多様な学外学修活動の記録を蓄積・共有

publicity

学生への周知一般への周知

opportunities intersection

学外学修を行いたい学生、受け入れたい外部組織が出会う場

supporters network

学外サポーターとの連絡協議会受入先の安定確保・品質管理と新規獲得

【事業の成果】

	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	0.3%	3.5%	25%
学生の授業外学修時間	—	15.7時間	21時間
学生が企画する活動数	7件	21件	20件

本取組は、現在、本学が掲げている「TSUDA VISION 2030—変革を担う、女性であること—」に寄与しうるものであり、学生にキャンパス内で学ぶ学問の境界を超えた広い教養を身に付けさせることで、学生の新たな思考力と創造力の育成を推進し、学内学修が育む高い専門性とのシナジー効果を生み出す。加えて、学外学修により高められる主体性を原動力に、自立した女性として、ゼミ、サークル活動、ひいては地域社会、日本社会、国際社会のエンパワーメントに寄与しうる女性の育成を実現する。